

筑大広報第 05-57 号

平成 17 年 7 月 6 日

筑波研究学園都市記者会 御中

筑 波 大 学

筑波大学睡眠医学寄附講座開設記念式典及び開設記念講演について

本学睡眠医学寄附講座につきましては、平成 16 年 11 月 24 日に開催されました定例記者会見において設置の発表をさせていただきましたが、本年 4 月に設立されたことを記念して、別紙のとおり開設記念式典及び開設記念講演を開催しますので、お知らせします。

連絡先：筑波大学大学院人間総合科学研究科

睡眠医学 教授 佐藤 誠

電話 & FAX 029-853-3074

筑波大学総務・企画部広報課

電話 029-853-2040

FAX 029-853-2014

平成 17 年 7 月吉日

筑波大学睡眠医学寄附講座開設記念式典

拝啓

初夏の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年 4 月に設立された筑波大学睡眠医学講座は、皆様方の暖かいご支援により本格的な活動を開始いたしました。

このたび設立を記念し、下記要領にて「筑波大学睡眠医学寄附講座記念式典」を開催したいと存じます。

講演会終了後はささやかな懇親会を予定いたしております。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、何卒ご出席賜りたく、ご案内申し上げます。懇親会のみのご出席も歓迎いたします。

今後とも皆様方の御指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
まずは略儀ながら、とりあえず書中にてご挨拶申し上げます。

敬具

記

日 時：7 月 8 日(金) 午後 5 時～
式 典：午後 5 時～5 時 30 分
会 場：筑波大学総合研究棟 D 棟 1 階
「公開講義室 (116 室)」
住 所：〒305-8577
茨城県つくば市天王台 1-1-1
TEL：029-853-6004 FAX：029-853-2695
挨拶：副学長 工藤 典雄
研究科長 後藤 勝年
大学入試センター長 荒川 正昭
病院長 山口 巖
医学専門学群長 中山 凱夫
副病院長 赤座 英之 他

睡眠医学寄附講座開設記念講演

(午後 5 時 30 分～午後 6 時 30 分)

座 長：筑波大学 磯 博康

招待講演：Prf. Terry Young (Wisconsin 大学教授)

演 題：「睡眠呼吸障害の社会へのインパクト」

懇親会 (午後 7 時～)

会 場：筑波大学総合研究棟 D 棟 1 階

「オープンギャラリー (104 室)」

挨拶：副研究科長 山本 雅之
副病院長 五十嵐 徹也
副病院長 鈴木 君江
基礎医学系長 太田 敏子
社会環境医学専攻長 永田 恭介 他

主催：筑波大学睡眠医学寄附講座記念式典事務局

協賛：サニーヘルス株式会社

フジ・レスピロニクス株式会社

平成 17 年 7 月吉日

筑波大学睡眠医学寄附講座開設記念シンポジウム・講演会

拝啓

初夏の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年 4 月に設立された筑波大学睡眠医学講座は、皆様方の暖かいご支援により本格的な活動を開始いたしました。

このたび設立を記念し、下記要領にて「筑波大学睡眠医学講座記念シンポジウム講演会」を開催したいと存じます。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、何卒ご出席賜りたく、ご案内申し上げます。

今後とも皆様方の御指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
まずは略儀ながら、とりあえず書中にてご挨拶申し上げます。

敬具

記

日 時：7 月 9 日（土）午前 9 時～12 時

会 場：筑波大学総合研究棟 D 棟 1 階

「公開講義室（116 室）」

シンポジウム「睡眠呼吸障害の臨床・予防医学」

座 長：佐藤 誠

演 題Ⅰ：「睡眠呼吸障害の病態と臨床」 佐藤 誠

演 題Ⅱ：「睡眠呼吸障害のスクリーニング」 谷川 武

演 題Ⅲ：「交代勤務者の睡眠呼吸障害」

Lawrence Smith 先生（Leeds 大学助教授）

特別講演Ⅰ：座長 谷川 武

演 者：成井浩司先生（虎の門病院睡眠センター長）

演 題：「臨床各科における睡眠呼吸障害の重要性」

特別講演Ⅱ：座長 磯 博康先生

演 者：Prof. Terry Young（Wisconsin 大学 教授）

演 題：「米国における睡眠呼吸障害の「疫学からの新たな展開」」

主催：筑波大学睡眠医学寄附講座開設記念シンポジウム・講演会事務局

平成 17 年 7 月吉日

筑波大学睡眠医学講座開設記念講演会のご案内

拝啓

初夏の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年 4 月に設立された筑波大学睡眠医学講座は、皆様方の暖かいご支援により本格的な活動を開始いたしました。

このたび設立を記念し、下記要領にて「筑波大学睡眠医学講座記念講演会」を開催したいと存じます。

講演会終了後はささやかな懇親会を予定いたしております。

大変お忙しいところ恐縮ではございますが、何卒ご出席賜りたく、ご案内申し上げます。懇親会のみのご出席も歓迎いたします。

お手数ですが同封の葉書にてご都合をお知らせいただければ幸甚に存じます。
今後とも皆様方の御指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
まずは略儀ながら、とりあえず書中にてご挨拶申し上げます。

敬具

記

開催日時 平成 17 年 7 月 9 日 午後 6 時～午後 9 時

会 場 ホテルニューオータニ東京

ガーデンコート 5 F

住 所：〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町 4-1

TEL:03-3265-1111 FAX:03-3221-2619

講演会 午後 6 時～午後 7 時（シリアスの間）

招待講演 「米国における睡眠呼吸障害の－疫学からの新たな展開－」

Prof. Terry Young（Wisconsin 大学 教授）

記念講演 「日本人の睡眠呼吸障害」

佐藤 誠先生

筑波大学大学院教授 人間総合科学研究科

社会環境医学専攻 睡眠医学講座

懇親会 午後 7 時～午後 9 時（アリエスの間）

以上

筑波大学睡眠医学講座開設記念講演会事務局

寄 附 講 座 の 概 要

1 大学名

筑波大学（大学院博士課程人間総合科学研究科）

2 寄附講座の名称

睡眠医学寄附講座

3 寄附者（現時点）

サニーヘルス株式会社、フジレスピロニクス株式会社

4 寄附者の概要

サニーヘルス株式会社

設立：昭和 53 年 12 月

代表者：代表取締役社長 西村峯満

事業内容：健康食品・化粧品の企画・販売

場所：〒380-0912 長野県長野市稲葉 1661 番地

フジレスピロニクス株式会社

設立：昭和 59 年 9 月

代表者：代表取締役社長 片平俊治

事業内容：医療機器の開発・輸入

場所：東京都文京区湯島 1 - 5 - 32

5 寄附予定金額

総額 6,000 万円

6 寄附の時期及び期間

サニーヘルス株式会社

フジレスピロニクス株式会社

7 寄附金の使途

人件費、研究費、その他運営に必要な経費

8 寄附の方法

9 寄附講座の教育研究領域の概要

研究領域は、睡眠予防医学・睡眠呼吸障害の臨床医学を核とした睡眠医学全般とする。

教育領域は、人間総合科学研究科において睡眠医学概論、睡眠予防医学、睡眠呼吸障害学に関する授業科目を設定し教育を行う。

10 現有組織の構成状況及びそれらに照らした寄附受け入れの必要性

(1) 睡眠医学寄附講座に関連する教員構成

| 開設授業科目 | 担当教員 | 専攻分野 |
|--------|-----------|----------------|
| 地域医療学 | 磯 博康・谷川 武 | 社会環境医学（社会健康医学） |

(2) 寄附受け入れの必要性

平成 15 年 2 月の新幹線運転士の居眠り運転事件以降、わが国における睡眠医学の医療体制の遅れが国民的懸念となっている。特に、睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング、診断、治療をはじめとする睡眠医学全般の基本的知識・技能を有する医師の養成が求められている。

本学では最近 3 年間、医学専門学群 3、4 年生を対象にアドバンスコースを開講し、睡眠医学（睡眠臨床医学については毎年専門医を非常勤講師として招聘している）に関する講義・実習を行ってきた。本コースに関しては、選択した学生（平均 40 人/年）から必修科目として導入の要望が毎年多い。したがって、睡眠臨床医学（特に睡眠時無呼吸症候群の診断・治療）の教育・研究を行う専門家を教授として招聘する必要がある。

睡眠呼吸障害、交代制勤務を中心とした睡眠予防医学上の教育・研究については、7 年前から人間総合科学研究科の担当教官（磯、谷川）が進めてきた。また、他大学、学会、全国の自治体・関連団体から講演を数多く依頼されている。今後益々増大する社会的要請に応えるために、大学院人間総合科学研究科において睡眠医学概論、睡眠予防医学、睡眠呼吸障害医学に関する授業科目を新たに開講する。

本構想は、これまで社会医学系社会健康医学研究グループが培ってきた研究・実践活動の成果を基礎として睡眠障害予防のための睡眠予防医学センターと睡眠臨床医学センター（検査病室と外来）の設立・運営を 2 本柱として、全国に先駆けて睡眠障害の予防・臨床を一体化した睡眠医学の拠点を形成し、筑波大学における教育・研究・診療に資することを目的とする。

米国では、1980 年代から睡眠時無呼吸症候群（sleep apnea syndrome, SAS）、夜勤・交代勤務の影響を含めた睡眠障害全般によってもたらされる健康障害・事故のリスクが膨大な国家損失をもたらすことを踏まえて、国を挙げて睡眠障害の治療、予防に取り組んでおり、現在全米で約 3000 の睡眠障害専門医療機関（そのうち米国睡眠医学会認定機関は約 500）が設立されている。特に中高年の有病率が男性で約 4%とされる SAS については、社会的影響の大きさから大規模な疫学研究がいくつも進められており、循環器疾患・交通事故のリスクに関する多くの報告がなされている。一方、我が国では、睡眠医学の基礎医学的研究の歴史は長く、国際的に優れた業績が数多く発信されてきた。筑波大学においてもオレキシンの発見、ナルコレプシーの機序解明をはじめ顕著な成果

を挙げている。しかしながら、我が国全体では予防医学・臨床医学的な取り組みは立ち遅れており、SASを含めた睡眠障害に悩む患者数が多いにもかかわらず（わが国のSASの有病者数は約200万人）、米国で既にスタンダードとされている終夜睡眠ポリグラフなどの検査、治療が行える医療機関の数は未だ少ない。この問題は、以前から専門家の間では指摘されており、日本睡眠学会では睡眠障害の専門医と医療機関の認定制度を発足させていますが、その数は患者数に比べて圧倒的に不足している

(<http://www.ashitech.ac.jp/jssr/>)。

これまで筑波大学人間総合科学研究科社会健康医学研究室では、SASによる循環器疾患・事故の予防を目的とした地域・職域でのSASのスクリーニング法の開発、地域・職域におけるSAS改善に焦点をあてた生活習慣病予防プログラムの開発に取り組んできた。

今後、各科との関連（例：睡眠障害全般・精神科、小児のSAS全般とダウン症の睡眠呼吸障害・小児科、ED・泌尿器科、CPAP治療・呼吸器内科、SASによる循環器疾患のリスクと心不全患者の睡眠障害・循環器内科、妊娠中の母子・胎児障害：産婦人科）をもとに研究活動を進める。

本センター設立によって、Harvard Medical Schoolにおける睡眠医学教育システムの水準を目標とし、同校でのSleep Medicineの教授陣との連携によって国際的にも質の高い教育を推進することが期待される。また、従来わが国の大学院にはなかった包括的な睡眠医学教育を医学生、大学院生、生涯教育受講者を対象に提供し、その波及効果による睡眠医学を修得した医師による国民の健康・安全への寄与が期待され、さらに、筑波大学のみならず、わが国において睡眠医学に関連する広範囲な分野の基礎・予防・臨床研究の活性化が見込まれる。

以上のような教育・研究・診療のための効率的運用を行うため、寄附を受け入れると共に、当該教官を招聘する必要があると必須である。

寄附講座の必要性と概要

背景

国民の2～4割が睡眠障害
睡眠時無呼吸症候群の患者数は200万人以上と推定

睡眠障害克服の緊急度

- ・新幹線運転士・旅客機の機長の居眠り事件
- ・大型トラックによる交通事故の多発
- ・その他の産業・交通災害の発生

現状

- ・睡眠医療（検査・治療）の施設・専門家の圧倒的な不足
- ・睡眠予防医学（スクリーニング）の未整備
- ・睡眠医学に関する教育の未整備



国民の安全・健康向上のために睡眠呼吸障害全般（特に睡眠時無呼吸症候群）の予防から治療を包括的に行うための研究推進

が重要かつ急務

筑波大学における睡眠医学研究の基盤整備状況

基礎医学

- ・オレキシン発見等の国際的な研究業績

予防医学

- ・睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング法の開発

睡眠医学寄附講座との連携体制

睡眠医学寄附講座

睡眠予防医学

睡眠臨床医学

NPO法人
睡眠健康
研究所

睡眠医学研究
プロジェクト

基礎医学系

社会健康医学研究教育グループ

臨床医学系

先進医療開発促進部門
呼吸器（内科・外科）
精神医学
耳鼻咽喉科
循環器（内科・外科）
代謝内分泌（内科・外科）
消化器（内科・外科）
泌尿器外科
麻酔科
神経内科
血液内科
小児（内科・外科）
口腔外科
脳神経外科
産婦人科
治験管理部
検査部 など